

組合回覧

平成17年7月12日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 丸山地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年6月24日(金) 19:00～21:30

場所 丸山公民館

参加 検討委員22名、コーディネーター他

当日は、飯田の地域づくりにいろいろとかかわっていただいている鈴木先生(有ハーツ環境デザイン)をコーディネーターに、丸山地区から選出された検討委員が3つのグループに分かれ、丸山地区の現状について議論しました(各グループから出た主な意見は3ページのとおり)。今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



皆さんが日頃思っている意見を書きました

グループごとに発表を行いました

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関する土地利用の課題の共有化、基本の方針（骨格）についての意見の反映
- 丸山地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、29名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

第1回 丸山地区懇談会で出た主な意見

丸山地区の現状は？

生活、公共・福祉サービス

よいところ・宝

- あいさつ運動の推進
- 住み易い(生活環境が良く、静かで買い物・公共施設が近い)
- 公共施設が多い
- 小中学校、保育園が近い
- 病院には困らない
- 福祉自動車が導入された
- 下水道が普及し、区画整備が進んでおり、生活の利便性が良い
- 高速バスのバス停が有る
- 街が近く生活に便利

課題

- 子供が少なくなっている
- 人口の流失(郊外へ家を建てる)
- 老人だけの家族が多い
- 介護する人が少ない
- キラヤ～飯田病院間(踏切)の県道未整備
- 都市計画が中途半端な状態
- 高速バス停の駐車場が無い
- 中央道により地区が分かれている
- <中央道より上>
- 商店が無く、買い物に不便
- 特に老人の買い物・病院通いが不便
- バスが通っていない
- 傾斜地で車が必要
- 住宅地として発展したが無秩序
- 道路が狭い
- 冬期の雪かき問題

自然環境・歴史・文化

よいところ・宝

- 今宮神社からこどもの森公園一体が良い
- 自然のままの風越山
- 白山社
- 空気、水、緑が良い
- 滝の沢登山口、子供の森からの眺めが良い
- 自分の地区の公園をボランティアで整備している

課題

- コンクリートでの整備が多い(河川など)
- 子供が少なく、お祭りなどの伝統行事が出来にくくなっている

商業・工業

よいところ・宝

- うるさい工場がなくて静か
- 伝統工芸(水引)がある

課題

- 商工業のまとまったものが無い
- 働く場所が無い
- 土地が無く、工場が来られない

農業

よいところ・宝

- 水田が良い
- 農振地区であり農地が守られている
- 水が豊富で農業がしやすい
- 自然景観としても良好

課題

- 専業農家が少ない
- 労働に見合う所得が無い
- 農地と住宅地が混在し、田畑も小さい
- 農業環境が悪くなった
- サル、イノシシの被害が多い

拠点・その他

よいところ・宝

- 今宮球場
- 公民館
- 集会所が多い
- 丸山公民館、交流の場

課題

- 大型バスの通行が大変
- 災害に弱い

少し広域で丸山地区を見て

よいところ・宝

<生活> 成人式を羽場丸山地区でやっている

課題

<生活> 高齢化
<その他> 羽場、丸山、東野の連携観光地が分散化している

将来

丸山地区はこうなってほしい・こうなってほしくない

(次のページへ)

将来は

こうなってほしい ・ こうなってほしくない

<生活、公共・福祉サービス>

- 人口を増やして欲しい
- 若者が住みやすい環境づくり
- 高校の誘致による若者の増加
- 挨拶の出来る街
- 羽場大瀬木線の開通
- 踏切の整備、拡張、待ち時間の短縮
- 道路が全体に狭い、広くして欲しい
- 子供や高齢者が安全に不自由なく暮らせる道路
- 中央道上の自然を守りながらの道路拡張
- 市民バスが通れるような道作り
- 区画整備をして欲しい
- 町の中に老人が生活できるマンションを建てる
- ディサービスセンターの設置
通過するだけの道路は不要、生活道路主体

<農業>

- 農振地区を守って欲しい
- 農業が継続できるように
- 後継者を多くつくる
- 農業でゆとりある生活が出来るようになって欲しい(農業所得の向上)
- 特徴ある農業振興
農地が虫食いにならないように

<商業・工業>

- 産業の振興を計る
- 中小企業団地を造る
- 農振地区を外して、農業以外の利用が出来るようにする
- 高齢者の働く場所を地区内に欲しい

<自然環境・歴史・文化>

- 今ある自然環境を残す
- 風越山、その山麓などの自然が守れるような地区
- 風越山、虚空蔵山をもっとPR
自然保護、これ以上開発しないで欲しい
公園を都会的な公園にしてほしくない

<拠点・その他>

- 今宮神社の祭典をさらに発展
- 災害に強い地域に整備

<少し広域で丸山地区を見て>

- 丘の上に魅力をつける
- 丘の上と一体となった市街地整備
- 中央道上段(丸山、羽場、東野)として考えるべき
- 羽場、東野、丸山との連携強化
- 働く場所が近くに欲しい
- 他地区から子供の森公園に多くの人に来てもらいたい
- 文化地区、スポーツ地区、自然地区を統一した地域づくり
- リニアがほしい

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 平成17年7月23日(土) 13:00~17:00

場所 丸山公民館

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出されたよいところ・課題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話合います

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください。

飯田市役所

〒395-8501

飯田市大久保町2534

22-4511 Fax 53-4511

E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局

連絡先 企画課 担当：篠田 内線 2223

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、

飯田市ホームページでもご覧になれます

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」